

# エメックス国際セミナー

米国ワシントン州における沿岸域統合管理と瀬戸内海の里海づくり

## EMECS International Seminar

Integrated Coastal Management in the Washington State and  
Satoumi in the Seto Inland Sea

日 時： 2019年2月21日(木) 午前10時～午後5時  
会 場： ラッセホール 2階 ローズサルーン

主 催： (公財)国際エメックスセンター

後 援： 兵庫県、瀬戸内海環境保全知事・市長会議、(公社)瀬戸内海環境保全協会、  
(特非)瀬戸内海研究会議、ひょうご環境保全連絡会、(公財)ひょうご環境創  
造協会、兵庫県環境保全管理者協会、アジア太平洋地球変動研究ネットワー  
ク(APN)、(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)

**Time / Date : 10:00 – 17:00 , (Thur.) February 21, 2019**

**Venue: Rose saloon, 2<sup>nd</sup> floor, Lasse Hall, Kobe, Hyogo, Japan**

**Organizer: International EMECS Center**

Supporters: Hyogo Prefectural Government, Governors and Mayor's Conference on the Environmental Protection of the Seto Inland Sea, The Association for the Environmental Conservation of the Seto Inland Sea, The Research Institute for the Seto Inland Sea, Hyogo Environmental Conservation Association, Hyogo Environmental Advancement Association, Hyogo Prefecture Association for Corporate Environmental Conservation, The Asia-Pacific Network for Global Change Research, The Institute for Global Environmental Strategies



(公財) 国際エメックスセンター

International EMECS Center

# プログラム Program

10:00 - 10:05	開会あいさつ Opening remarks	鈴木 基之 Motoyuki SUZUKI	国際エメックスセンター会長 President, International EMECS Center (Japan)
10:05 - 10:40	閉鎖性海域の管理に求められる『社会的公正』 Social equity in coastal enclosed seas management: to whom shall the sea belong?	太田 義孝 Yoshitaka OTA	米国・州立ワシントン大学アシスタントプロフェッサー Research Assistant Professor, University of Washington (U.S.)
10:40 - 11:20	ワシントン州の沿岸域管理: 水際線管理から海洋空間計画へ Coastal Zone Management in Washington State: from Shoreline Management to Marine Spatial Planning	ジェニファー・ヘネシー Jennifer HENNESSEY	米国・ワシントン州知事室海洋保全上級政策顧問 Senior Policy Advisor-Ocean Health, Washington State Governor Jay Inslee (U.S.)
11:20 - 12:00	ピュージェットサウンドを回復するための管理フレームワークとしての集団的影響 Collective Impact as a Management Framework for Recovering Puget Sound	シーダ・サハンディ Sheida SAHANDY	米国・ピュージェットサウンドパートナーシップ専務理事 Executive Director, Puget Sound Partnership, State of Washington (U.S.)
12:00 - 13:00	休憩(昼食) / Lunch break		
13:00 - 13:30	瀬戸内海の環境ガバナンス Environmental Governance of the Seto Inland Sea	松田 治 Osamu MATSUDA	国際エメックスセンター副理事長 広島大学名誉教授 Vice Chair of Board of Directors, International EMECS Center Professor Emeritus, Hiroshima University (Japan)
13:30 - 14:10	アメリカ西海岸の海洋酸性化への対応 Responses to Ocean Acidification on the U.S. West Coast	テリー・クリンガー Terrie KLINGER	米国・州立ワシントン大学教授 ワシントン海洋酸性化センター長 Professor, University of Washington Co-Director, Washington Ocean Acidification Center (U.S.)
14:10 - 14:40	瀬戸内海の栄養塩管理 Nutrient Management in the Seto Inland Sea	柳 哲雄 Tetsuo YANAGI	国際エメックスセンター特別研究員 九州大学名誉教授 Principal Researcher, International EMECS Center Professor Emeritus, Kyushu University (Japan)
14:40 - 14:50	休憩 / Break		
14:50 - 15:30	包摂的ブルーエコノミーに向けて Towards an Inclusive Blue Economy	エドワード・アリソン Edward ALLISON	米国・州立ワシントン大学教授 Professor, University of Washington (U.S.)
15:30 - 16:00	瀬戸内海の生態系サービスの経済評価 Economic Valuation of Ecosystem Services in the Seto Inland Sea	仲上 健一 Ken'ichi NAKAGAMI	立命館大学 特任教授 Specially Appointed Professor, Ritsumeikan University (Japan)
16:00 - 16:55	ディスカッション Discussion	太田 義孝 Yoshitaka OTA	州立ワシントン大学助教授(米国) Assistant Professor, University of Washington (U.S.)
16:55 - 17:00	閉会あいさつ Closing	神田 泰宏 Yasuhiro KANDA	国際エメックスセンター専務理事 Executive Director, International EMECS Center

# 講演者 Lecturers

**太田 義孝**

**米国・州立ワシントン大学アシスタントプロフェッサー**

**Ass. Prof. Yoshitaka OTA** Research Assistant Professor, University of Washington (U.S.)

アメリカ・州立ワシントン大学（海洋環境政策学部・School of Marine and Environmental Affairs）Research Assistant Professor。カナダ・ブリティッシュコロンビア大学 Affiliate Professor。専門は社会人類学、海洋管理に関わる公共政策。ロンドン大学UCL校で博士号取得、世界各地の海で現地調査と資源管理の学際的研究に従事。海の未来を総合的に予測する日本財団ネレウスプログラムを創立し、自然科学と社会科学をつなぐ政策ディレクターとして、17大学が参加するプログラムを統括する。出身は大阪府豊中市。アメリカ、シアトル在住。神戸で好きな場所は、中華街と北野。



**ジェニファー・ヘネシー**

**米国・ワシントン州知事室海洋保全上級政策顧問**

**Ms. Jennifer HENNESEY** Senior Policy Advisor on Ocean Health for Washington State Governor Jay Inslee (U.S.)

ワシントン州ジェイ・インスリー知事室の海洋保全上級政策顧問として、海洋酸性化、海洋温暖化、低酸素、その他の海洋の健康問題など、気候変動による海洋の影響に対処するための政策について助言を行う。ワシントン州エコロジー部にて海洋プランナーとして10年以上勤務し、ワシントン州太平洋岸において州の海洋空間計画の取り組みを指揮した。オレゴン州立大学で海洋資源管理の修士号、ウィットマンカレッジで生物・環境学の学士号を取得。



**シーダ・サハンディ**

**米国・ピュージェットサウンドパートナーシップ専務理事**

**Ms. Sheida SAHANDY** Executive Director, Puget Sound Partnership, State of Washington (U.S.)

環境回復、水資源問題、気候変動、法律、公共政策および政府問題に関する専門知識を有する経験豊富な公共部門のリーダーであり、元民間部門の企業弁護士。カリフォルニア大学バークレー校で文学士、コロンビア・ロー・スクールにて法務博士、ハーバード・ケネディスクールにて行政管理学修士を取得。2006年～2014年ワシントン州ベルビュー市市政代行官補佐、2014年から現職。



**松田 治**

**国際エメックスセンター副理事長、広島大学名誉教授**

**Prof. Osamu MATSUDA** Vice Chair, Board of Directors, International EMECS Center Professor Emeritus, Hiroshima University (Japan)

1968年東京大学農学部水産学科を卒業後、1971年より広島大学で瀬戸内海や閉鎖性海域の研究と教育に従事、農学博士。2003年より広島大学名誉教授。専門は物質循環論、沿岸環境管理や自然再生。北極海、南極海、熱帯域、南北太平洋などで幅広くフィールドワークを行った。農林水産省生物多様性戦略検討会委員や環境省の中央環境審議会瀬戸内海部会委員、海域の物質循環健全化計画検討委員長等を歴任。NPO法人瀬戸内海研究会議顧問、NPO法人里海づくり研究会議理事長、文部科学省東北マリンサイエンス拠点委員会主査、かがわ里海づくり協議会アドバイザーなどに在任中。2015年より、国際エメックスセンター副理事長、現在に至る。



# 講演者 Lecturers

テリー・クリンガー

**Prof. Terrie KLINGER**

米国・州立ワシントン大学教授、ワシントン海洋酸性化センター長

Professor, University of Washington  
Co-Director, Washington Ocean Acidification Center (U.S.)



2013年よりワシントン州海洋酸性化センター長、2014年より州立ワシントン大学海洋環境政策学部長、現在に至る。

ブリティッシュコロンビア大学にて植物学修士、カリフォルニア・サンディエゴ大学スクリップス海洋学研究所にて生物海洋学学士を取得。

米国・西海岸における海洋酸性化の影響や有害藻類ブルームによる沿岸地域の漁業コミュニティへの対応戦略等、様々な研究プロジェクトを行っている。

柳 哲雄

**Prof. Tetsuo YANAGI**

国際エメックスセンター特別研究員、九州大学名誉教授

Principal Researcher, International EMECS Center  
Professor Emeritus, Kyushu University (Japan)



1972年3月 京都大学理学部卒業

1974年3月 京都大学大学院理学研究科地球物理学専攻修士課程修了

1974年4月 愛媛大学工学部海洋工学科助手

以後 講師、助教授、教授を歴任

1997年8月 九州大学応用力学研究所 教授

2013年3月 同大学を定年退職後、特任教授

2014年4月 同大学名誉教授、(公財)エメックスセンター特別研究員 現在に至る

この間、瀬戸内海、東京湾、伊勢湾、東シナ海、南シナ海など沿岸海域における物質輸送に関する物理・化学・生物過程の研究に従事する。また、2014年4月からは(公財)国際エメックスセンター特別研究員として、環境省が実施する「環境研究総合推進費」によるプロジェクト「S-13 持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理手法の開発」に研究代表者として取り組んでいる。

エドワード・アリソン

**Prof. Edward ALLISON**

米国・州立ワシントン大学教授

Professor, University of Washington (U.S.)



専門は、国際的発展の観点から見た世界の漁業と養殖政策、沿岸域の生活と福祉、貧困の減少、食物の安全性、気候変動に対する脆弱性と適応、環境正義、人権。

英国・リバプール大学にて海洋生物学士、同大学にて水産学博士を取得。

2007年～2010年マレーシア・ペナンの世界魚類センター政策・経済・社会科学部長。

2013年より現職。

仲上 健一

**Prof. Ken'ichi NAKAGAMI**

立命館大学特任教授

Specially Appointed Professor, Ritsumeikan University (Japan)



1967年山口大学工学部土木工学科卒業、名古屋大学大学院修士課程修了、京都大学大学院博士課程中退。工学博士(大阪)大学。京都大学経済研究所助手、立命館大学政策科学部教授・立命館アジア太平洋大学教授・副学長、国際公共経済学会会長、政策情報学会会長、(一社)サステナビリティ・サイエンス・コンソーシアム理事長を歴任。

環境研究総合推進費(S13)「持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理手法の開発」テーマ4「沿岸海域の生態系サービスの経済評価・統合沿岸管理モデルの提示」のテーマリーダー。沿岸海域の生態系サービスの経済評価およびサステナビリティ評価をベースとして、持続可能な統合的沿岸海域管理を研究。専門は水資源・環境政策、政策科学、サステナビリティ学。